

ロシア在住の天才少女、四国初公演!!

おく い し お
奥井紫麻ピアノリサイタル



2016年 12歳 イルクーツク音楽祭



2016年 12歳 イルクーツク音楽祭



2017年3月 ロシアでのテレビ録画



2017年 13歳

〈プログラム〉

ベートーヴェン:ピアノソナタ第11番 Op.22

シューマン:ウィーン謝肉祭の道化 Op.26

休憩

シューベルト:4つの変奏曲 Op.142より

第3曲変ロ長調~第4曲へ短調

ショパン:24の前奏曲 Op.28より

第1番~第12番(12曲)

ショパン:2つの夜想曲 Op.27より

第8番変ニ長調

ショパン:スケルツォ第2番変ロ長調 Op.31

※都合により、曲目が変更される場合があります。

平成30年 **6月3日(日)** 前売券 2,000円(全席自由)
自主事業による特別低料金

開場 13:30 開演 14:00 ※未就学児の入場はできません。(当日券 3,000円)

宇和島市立 南予文化会館

〒798-0040 愛媛県宇和島市中央町2丁目5番1号
TEL(0895)24-6800

プレイガイド/南予文化会館・きさいや広場・フジ北宇和島店・西予市宇和文化会館・まるいレコード(松山銀天街)

主催:南予文化会館 共催:eat愛媛朝日テレビ 後援:宇和島市、宇和島市教育委員会

12歳でゲルギエフと共演!
感性、歌心、技術の全てに恵まれた稀有な存在

奥井 紫麻(ピアノ)

Shio OKUI (Piano)

2004年5月生まれ。7歳より2017年8月までエレナ・アシュケナージに師事。9月よりヴァレリー・ピャセツキー(モスクワ音楽院附属中央音楽学校校長)に師事。ウラディーミル・スピヴァコフ国際慈善基金生。

8歳でオーケストラと初めて共演し、12歳で世界的指揮者ワレリー・ゲルギエフ指揮マリインスキー歌劇場管弦楽団と共演。

ロシアを代表する指揮者・ヴァイオリニストのウラディーミル・スピヴァコフとも10歳の頃から度々共演を重ねており、2016年13回目を迎えたスピヴァコフ国際慈善基金主催のフェスティバル“Moscow Meets Friends”では、グランドオープニング・セレモニーのソリストに選ばれ、スピヴァコフ指揮モスクワ・ヴィルトोजとフェスティバルの開幕を飾った。

9歳から国外での音楽祭に招かれ、ロシア、イギリス、スイス、イタリア、ポーランド、ウクライナ、ラトビア、アルメニア等でのコンサートに出演、各地のオーケストラとも多数共演している。

2016年5月にはデニス・マツエフが発起人となってモスクワで開催された順位付けを行わないユニークなコンクール“GRAND PIANO COMPETITION”で、最年少で7名の受賞者の1人に選ばれ、モスクワ音楽院大ホールで演奏。その様子はMedici.tvで中継され、演奏を聴いたエフゲニー・キーシンは「この年齢でこれほどまでに音楽を理解して感じる事ができ、楽器を自由に操ることができるとは、ただただ驚いた。」と評された(出典:Classical Music News/Russia)。

これまでに第1回ウラディーミル・クライネフ モスクワ国際ピアノコンクール(2015年モスクワ/ジュニア部門最年少第1位)、第14回ロシア国営文化テレビ主催「若い音楽家のための国際TVコンテスト“くるみ割り人形”」(2013年モスクワ/ピアノ部門第2位及び全部門総合聴衆賞)、第10回ウラディーミル・ホロヴィッツ記念国際ピアノコンクール“Horowitz-Debut”部門(2013年キエフ/A及びDカテゴリー第1位及びウクライナ文化省特別賞)等で入賞している。

現在、チャイコフスキー記念ロシア国立モスクワ音楽院附属中央音楽学校在学中。
2018年よりグネーシン特別音楽学校に編入し、タチアナ・ゼリクマンに師事する予定。



2010年 6歳 初めてのコンサート



2017年 12歳
故エレナ先生、スピヴァコフさん(右端)と。



モスクワ自宅のピアノ



自宅からの景色